

Wallenberg 症候群

- 延髄外側部の梗塞により発症
- めまい、嘔吐、嚥下障害、構音障害、小脳症状、同側顔面および反対側の四肢体幹の温痛覚障害
- 孤束核、疑核など嚥下中枢の直接障害による嚥下障害→嚥下筋群の弛緩・収縮に左右差
- 食道入口部開大不全が顕著
- 延髄病巣側への頸部回旋などの姿勢調整が必要
- バルーン法による間接訓練が有効
- 嚥下障害の予後は様々だが、多くは最終的に摂食可能